

351409

成都工学院图书馆

基本馆藏

民族解放の革命の旗を 高くかかげよう



朝鮮 外国文出版社 平壤

1964

民族解放の革命の旗を
高くかかげよう

、 1964年1月發行

編集者 外國文出版社
發行者
印刷者 平壤總合印刷工場

朝鮮・平壤

民族解放の革命の旗を 高くかかげよう

朝鮮 外國文出版社 平壤

1964

本書は一九六四年一月二十七日付「労働新聞」の論説「民族解放の革命の旗を高くかけよう」の全譯である。

民族解放の革命の旗を 高くかかげよう

いま、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ人民の生活には、偉大な革命的轉換がおこつてゐる。帝國主義、植民地主義に反對するたくましい革命の嵐がこれらの大陸をまきこんでゐる。

民族解放運動の強い打撃で、帝國主義の植民地体制は、手のほどこしようもなく崩れつつある。數億の人民にあれほどの不幸と苦しみをふりかけたのろましい帝國主義の生命線がここでたち切られつつある。

その幅と深さにおいて、これほど廣範な地域と人民を抱括した革命運動は、歴史上、いまだかつてなかつた。

前例のない民族解放闘争の高揚は、世界の革命を力強く促進しており、その勝利をはやめている。現實は、すべての共産主義者と人民が、帝國主義に抗して、だんこたる闘争に立ち上ることを要求している。

しかし、國際共産主義運動内に生じた修正主義は、現在、世界革命の發展に莫大な毒害をおよぼし

ており、民族解放闘争にも大きな障害となつてゐる。

現代修正主義者は、おびただしい出版物や演説をとおして、國際的な民主團體の會議、その他あらゆる機會を利用して、民族解放運動を中傷し、ひぼうしながら、帝國主義への降伏と妥協を説いてゐる。

修正主義者は、自身が帝國主義反對の闘争をしないだけでなく、ひとまでたたかえないようにし、帝國主義を各面から美化してゐる。かれらは、帝國主義者の「理性」に期待をかけ、平和共存と軍備撤廢などの實現で諸國の人民は自由と解放がえられる、とさわいでゐる。

修正主義者は、植民地・從屬國人民の武裝闘争が、世界大戰の慘禍をまねくといつて、これに反對しており、はては民族解放運動を「屍のための運動」とまで侮蔑してゐるありさまである。

修正主義者は、民族解放運動をブルジョア運動だといつて、その革命的意義を過少評價し、被抑壓人民は、自身では革命ができないといつたふうにいつてゐる。

かれらは、たたかう人民を支援せず、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ人民の團結を内部から切りくすそうと策してゐる。

このような事態は、民族解放運動の勝利のためには、現代修正主義者の策動をだんと排撃し、かれらの影響を徹底的に克服するためのたたかいを、いつそう決然とすすめなければならぬことをしめしてゐる。

われわれは、マルクス・レーニン主義の旗を高くかかげて、帝國主義と修正主義に反對し、すべての進歩的勢力とかたく團結して、民族解放革命を最後まで遂行することが、すべての共產主義者にお

わされただけかい義務だとみなしている。

一、帝國主義の植民地体制は一掃されるべきである

こんにち、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの様相は根本的にかわつてゐる。

第二次大戦後、この地域では、すでに五〇余の國が獨立を勝ちとつた。

朝鮮、中國、ベトナムの人民は、社會主義神設で、大きな成果をおさめ、キューバ人民は、アメリカ州ではじめて社會主義の道をふみだした。一連の新生獨立國人民が、あたらしい生活をきりひらいてゐる。

過去にはもつばら、帝國主義者の侵略と略奪の對象となつていたアジア、アフリカ、ラテンアメリカに、社會主義國や民族國家が生れ、發展をとけているのは、偉大な歴史的できごとである。

こんにちのアジア、アフリカ、ラテンアメリカは、昨日のアジア、アフリカ、ラテンアメリカではない。帝國主義者が、この地域で主人顔にふるまい、人民を思いのままにおさえつけ、略奪していた時代は過ぎさつた。

植民地民族解放戦争の大勝利は、帝國主義に甚大な打撃をあたえた。

「民族解放運動の打撃による植民地奴隸制度の崩壊は、その歴史的意義からいつて、世界社會主義体

制の形成につぐ現象である」(各國共產黨・労働者黨代表者會議の聲明)(1)

しかし、植民地制度は、まだ完全に清算されてはいない。植民地主義者は、世界の廣大な地域で、依然、血なまぐさい暴壓と強盜の略奪行爲をつづけている。

そしてアジア、アフリカ、ラテンアメリカ人民には、すでにおさめた成果をかためつつ、帝國主義の植民地体制を完全に一掃すべき課題が課せられている。

ところがいま、一部の人は、植民地制度はすでに崩壊し、その遺物が少しばかり残っているだけだといひ、民族解放革命の課題は殆ど完遂したかのようにいつている。かれらは、いまでは被抑壓民族のほとんどが植民地支配から解放され、わずか五〇〇〇萬程度の人びとが帝國主義者の抑壓と略奪をうけているにすぎないかのようにいつている。

これが事實だろうか？ 現實は決してそうでないことを示している。

いま、世界の數億の人民は、依然として帝國主義者の過酷な植民地的抑壓と略奪に苦しんでいる。アメリカをはじめとする帝國主義者は、民族解放闘争がもり上がっているこんにちでは、かつてのようにならなかつて直接的な形で植民地を支配することはいつそうむずかしくなつた。かれらは古い方法とあわせて偽装をこらした新植民地主義の狡猾な手をもちいて多くの國でそのまま植民地制度を保存している。現實にたいして、わざと目をつぶるのでない限り、この事實を否定することは決してできない。

帝國主義者は、こんにち、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの多くの國をさまざまな方法で依然として従屬状態にしぱりつけている。

帝國主義者は、一連の國々にで、自分のかいらいを政權につかせ、これを利用して、植民地政策を實施している。

イギリス、フランスの帝國主義者は、獨立を宣言した諸國を「連邦」、「共同体」などの機構にしばりつけて、これらの國が、過去の支配國への從屬關係からぬけ出せないようにしている。

帝國主義者は、一部の國々にCENTO、SEATOなどといった軍事ブロックと數多くの双務的軍事同盟にひき入れ、政治的、軍事的に統制している。

いま、アメリカは、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの三カ國に主なものだけでも、九五カ所の軍事基地を配置し、四〇萬の軍隊を駐屯させており、イギリスは、一〇余カ國に軍事基地を設けて七萬人の軍隊を配置している。そしてフランスは、これらの地域の諸國に二〇萬の軍隊を派遣している。

帝國主義者らのこのおびただしい軍事基地と駐屯軍は、社會主義諸國に反對し、民族解放闘争を弾壓するために利用されている。

アメリカをはじめとする帝國主義者は、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸國に「援助」を提供し、それを利用して横暴にこれらの國の内政に干渉している。

ラテンアメリカにたいするアメリカ帝國主義の「進歩のための同盟」はこの地域の國々にその侵略的な意思を強いる手段に外ならない。

かれらは「平和軍」、「アフリカ十字路計畫」などを植民地主義的な浸透の道具に利用している。

帝國主義者のこうした策動で、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの多くの國が民族的自主權を甚

だしくおかされており、實質上、いまなお植民地、半植民地の境遇を強いられている。

アメリカ帝國主義者は、いま、南朝鮮、台灣、南ベトナム、日本の沖縄など、多くの地域を武力で占領し、完全な植民地につきおとした。

これらのことは、帝國主義者の植民地支配が、依然として廣範な地域に及びてゐることを示している。

帝國主義者は、弱小國の經濟的從屬化をいつそう強めている。

いま、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸國には、二〇〇〇あまりのアメリカ獨占會社の資本が國家資本とともに浸透している。

帝國主義者のこれらの地域の諸國にたいする投資は、第二次大戰後、數倍にふえた。

この地域の諸國にたいするアメリカの投資は、一九六二年末現在、約三〇〇億ドルに達した。

帝國主義者は、巨額の資本輸出と各種の植民地的利權にもとづいて、これらの地域の諸國の主要經濟部門で獨占的な地位をしめている。

アメリカ帝國主義は、ラテンアメリカの鐵礦石の殆ど全部と銅礦の九割、亞鉛礦の三分の二、石油生産の大部分を獨占している。かれらは、農業と牧畜業でも、特權的な地位を占め、農地の多くの部分を占有している。

アメリカ、イギリス、フランスなどの獨占資本家は、アフリカの主要な鑛業部門を殆ど完全に手中におさめ、中近東の石油の九割以上を獨占している。

これが植民地的從屬と專横でなくてなんである。

經濟的にたちおくれた弱小國にたいする帝國主義者の自由な資本輸出と、經濟的な統制は、植民地主義のもつとも主要な側面である。それは帝國主義者のこれらの國にたいする政治的、軍事的統制と、かたく結びついている。

植民地制度がほとんどなくなつたという人たちは、帝國主義者の經濟的支配が植民地的從屬化のはつきりしたあらわれであることを無視している。

アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸國の豊かな資源は、帝國主義の強盜によつて、ほしのままに略奪されており、これらの國の人民の勞働の成果は、獨占資本家の懷に、際限なく流れこんでいる。

帝國主義者が、これらの統制下にある國々からえる利潤率は、本國におけるそれより數倍も上回る。ここ數年間の利潤率は、アメリカで一〇—一二パーセント、イギリスで八—九パーセントであるのに反して、獨占資本の從屬國から得る利潤は、投資の三〇—一〇〇パーセント、またはそれ以上にたつしている。これは全く強盜の略奪である。

帝國主義者は、植民地、半植民地の狀態におかれた國の勤勞者に、長時間のひどい勞働を強制し、しかも本國における何分の一、甚だしくは何十分の一にしかならない飢餓賃金すら、まともに支拂つていない。

帝國主義者が、いま、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸國から、利潤や利子として搾りあげる利得と、原料を安く買つていき自分の商品を高く賣りつけることから得る利得だけでも、毎年約三〇〇億ドルに上つている。これは獨占資本家がこの地域の國々から、毎時間三四〇萬ドル、毎日、一億ドル近く奪いとつているわけである。

帝國主義者が一年間に奪つていくこの金額は、五億トンのメリケン粉の値段に相當し、それは二〇億の人口の一年間の食糧にひとしいものである。

帝國主義者がかき集めていく一ドル、一ドルに、一ポンド、一ポンドに、その一フラン、一フランには、苦役と貧困と飢えにたおれた人民の血と汗とらみがこもつてゐる。

アメリカ帝國主義者はまた、「援助」によつて弱小國の人民をひどく搾取してゐる。かれらは「援助」をうける國にそれより二―三倍も多い金額を軍事費として支出するよう強制してゐる。

アメリカ帝國主義者は、南朝鮮に三五億ドルの「經濟援助」を與えて、約一〇〇億ドルの富をかすめとつた。アメリカが「援助」をえさにして強制した送方もない軍事費の負担と過酷な搾取は、南朝鮮の經濟を完全に破滅のふちにおいこんだ。アメリカ帝國主義者が、とくべつ力をいれて「支援」しているという南朝鮮經濟のみるかげもない破産は、帝國主義の「援助」の略奪的な本質をもつともよく證明してゐる。

アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸國で帝國主義者が横行してゐるこれらの専横と強盜にひとしい略奪は、植民地制度が決してなくなつていないことをはつきり證明してゐる。

帝國主義者の野蠻な植民地支配の結果、こんにちアジア、アフリカ、ラテンアメリカの多くの國の人民は依然として不幸と苦しみをなめてゐる。

悠久な文化とゆたかな資源、勤勉な人民をもつ多くの國が、帝國主義の植民地政策によつて經濟的にもつともたおくれた地帯として殘されてゐる。

いま、アジアでは約六〇〇〇萬人、アフリカでは一〇〇〇萬人、ラテンアメリカでは五〇〇萬の人

びとが職にありつけず、何ら生活のすべを持たないまま路傍をさまよっている。

ラテンアメリカ住民の三分の二、アフリカ住民の大多數、アジアの數億の人びとが慢性的な飢餓から免れずにいる。

この地域の多くの國では、毎年、數千萬の人がひどい飢えと苦役のために、そして十分になおすことのできる病氣をなおせないために死んでいる。

植民地・從屬國における住民の平均壽命は、發達した資本主義國のそれよりも二〇—三〇年も短く、一連の國では三〇歳にもたつしない。これらの國の乳兒死亡率は、他の資本主義國の三—四倍、あるいはそれ以上となつてゐる。

實に、帝國主義者は、これらの國で、人民の大量殺戮をほしいままにしているのである。

帝國主義者の抑壓と搾取は、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの人民にはなほだしい文化のたちおくれをもたらし、二〇世紀の中葉にあたる今日なお、ラテンアメリカの七〇〇〇萬の人びとと、アフリカ住民の八割が完全な文盲である。

この地域の國々にの兒童の就學率は、發達した資本主義國の三分の一ないし四分の一にすぎない。アジア、アフリカ、ラテンアメリカの人民のこれらすべての不幸と苦しみは、もつばら帝國主義者の犯罪行爲によるものである。

帝國主義と植民主義は、被抑壓民族のぜつたいに許せない敵である。

帝國主義者が、被抑壓民族にふりかけているこの問をこれ以上長びかせてよいだろうか？

植民地制度を一日もはやく一掃し、植民地支配の惡結果を完全に一掃することは、われわれの時代

のもつともさし迫つた要求である。

植民地制度を一年でも早くなくすことは、數千萬人の生命を救い、數億の人びとを貧困と飢えから解放し、數千萬の子供たちに、學びの道をひらいてやることになる。

今日すでに、植民地・從屬國の人民がほとんどみな解放されたかのようにいつている人たちは、被抑壓民族の苦しみに顔をそむけるものであり、アメリカをはじめとする帝國主義者がその許せない犯罪をおおいかくすのをたすけることである。

帝國主義者は、その植民地支配と略奪政策をありとあらゆる手でカムフラージュしており、世界にはもう植民地制度は存在しないといつたふうに弁じてゐる。とくにアメリカ帝國主義者は、自分が植民地主義とは何のかかわりもなく、「後進國」人民の「進歩」のために力をつくしているかのようになげさな宣傳をしている。

帝國主義者のこうした宣傳が、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ人民を欺き、かれらを民族解放闘争から退かせようとする策略であることはあまりにも明らかである。

自ら共產主義者をもつて仕する人たちがどうして帝國主義者の宣傳に調子を合わせながら、もう植民地制度は残つていない、などと人びとをだますようなことができるだろうか？

世界の共產主義者は、被抑壓民族にたいする帝國主義者の專横と略奪をばくろし、糾弾し、人民の不幸と苦しみを一日もはやくとり除くためにたたかうべきである。

あらゆる形の植民地主義を一掃し、人民が完全な民族的自由を得るまでは決して反帝民族解放闘争をゆるめることはできない。

被抑壓人民は、民族解放闘争の炎をますます高め、帝國主義の植民地体制を完全に一掃する歴史的な課題を完全に遂行しなければならない。

二、帝國主義者はみずからすすんで植民地・

從屬國から退くものではない

植民地・從屬國の人民は、自由と獨立のための闘争をすすめるにあたつてぜひに帝國主義者の「好意」を期待してはならない。

植民地は帝國主義の搾取と略奪の無盡蔵の源泉である。

帝國主義、獨占資本は、世界の數億の被抑壓民族の血と汗で腹をこやしている。獨占資本家は、他國の領土を侵略し、搾取と略奪をしなければ生きられない。帝國主義者は、また植民地を軍事戰略基地として、彈よけの供給地として利用している。植民地は、まさに帝國主義の「生命線」である。

歴史上、いまだかつて帝國主義者が植民地からみずから手をひいた例はない。現實が示しているように、帝國主義者は植民地から退かないばかりか、寸土でもつと握りしめて隸屬させるために狂いたつてゐる。帝國主義者は、侵略の目的をとげるためには戦争さえためらわない。

帝國主義は、その本質からして反動的で侵略的である。

帝國主義の本質は決して變るものではない。窮地におちいればおちいるほどますますあがきだすの

である。勤勞者を搾取しない資本などはありません、侵略をしない帝國主義などは想像もできない。

したがつて、マルクス・レーニン主義者は、植民地・従屬國の人民が獨立を勝ちとるためには、帝國主義反對のどんなたる革命闘争をくりひろげなければならぬと一貫して認めている。

しかし、現在、一部の人は國際舞台における力關係がかわり社會主義に有利になつたので帝國主義が優略的本質をすてて「理性的」になつたといひ、帝國主義の頭目の「賢明さ」をほめたたえている。

そしてかれらは、いまの時代が帝國主義との全面的な協力の時代だといつて、協力を通じて世界革命の問題を解決することができると主張している。彼らの言ひ分は、帝國主義者が「理性」を發揮して植民地からもすすんで出てゆくだろうという。そして帝國主義者と仲良く話し合い、妥協すれば被抑壓民族が獨立を「プレゼント」してもらえんというのである。

これは帝國主義にたいする幻想であり、人民を愚瞞するものである。帝國主義者が、「植民地」、「勢力圏」、資本の輸出をあきらめることができらるうか？ そう考へるのは、日曜日ごとに、キリスト教の偉大さを金持に説教し、貧乏人に：毎年數十億ルーブリまではいかなくても、數百ルーブリでも恵むべきだとすすめる僧侶の水準まで轉落することを意味する」（レーニン）（2）

帝國主義者との協力を唱へる人たちは、世界革命の問題を解決する方法として平和共存をもちだしている。

かれらは、いまの核兵器時代に革命をおこなう「ただ一つの道」は、平和共存だと主張している。だから被抑壓民族の第一義的な課題も、民族の獨立と自由をめざすたかいかではなく平和共存を實現するための闘いだといつてゐる。

平和共存は、社會制度の異なる國々との間の關係にかんする問題である。社會主義諸國は、平和共存のためにたたかっている。

しかし、平和共存は決して帝國主義と植民地・從屬國の間にあてはめられるものではない。

植民地・從屬國の人民は、いままゝ帝國主義者に過酷な抑壓と榨取をうけており、奴隸の境遇を強いられている。抑壓する者と抑壓されるものとの間に、どうして平和共存がありえるだろうか？

それでもなお、帝國主義者と平和的に共存すべきだと主張するならば、それは被抑壓民族に、いつまでも植民地奴隸の狀態に甘んじておれということにほかならない。

近ごろ、修正主義者は自分たちが帝國主義者と被抑壓民族の平和共存を主張したことがなかつたかのようにいつている。しかし、どんなに弁明したところでこれらの本心をかくすことはできない。

かれらは、平和共存の環境にあつてはじめて、民族解放革命の完全な勝利が可能であると證明するために四苦八苦している。平和共存が保障されれば、社會主義と資本主義との經濟競争で帝國主義が敗れ、したがつて民族解放はおのずと達成されるであらう、といふふらしている。かれらは民族解放運動が、平和共存に從屬すべきであり、結局は、革命をやつてはいけない、と説教しているのである。

はては、平和共存の宣傳に汲汲としたあまり、第二次世界大戰後、植民地・從屬國の人民がきびしい闘争を通じてかくとくした多くの國々に民族の獨立と解放を、あたかも自分たちの平和共存政策の「たまもの」であるかのようにいいふらすはじ知らずなことさへ平氣でやつている。

社會主義國と資本主義國との間の平和共存が、植民地・從屬國の人民に獨立をもたらしえないし、